

平成二十七年年度彙報

本年度の総合仏教研究所は、大塚伸夫所長の大正大学学長就任に伴い、十一月から野口圭也が新所長に就任した。副所長を副島弘道、元山公寿の両名が務め、研究所の運営にあたった。また吉澤秀知研究所主任と増淵朋実が事務運営を担当した。

研究所講師は、阿部真也、三浦周の計二名であった。研究所講師にはそれぞれの研究会活動に加えて、研究所の運営面でも協力いただいた。

また、桑山正進先生、武内孝善先生の二名を特別講師に迎え、特別講座を開催した。

次に、本年度の研究所の主な活動についてまとめる。

○所内研究発表

総合仏教研究所では、研究生全員と新任研究員に研究発表が義務づけている。本年度も五回にわたり、研究所に在籍する研究生七名と新任研究員五名による研究発表会を開催した。その開催日、発表者および題目

については「活動日誌」を、また発表内容については「所内研究発表会発表要旨」をご参照いただきたい。

○特別講座・公開講座

総合仏教研究所では、研究成果の公開及び学術交流を目的とし、各種講座を開催している。聴講対象は、本研究所関係者の他、学内外および地域住民など、制限を設けず広く開放している。

特別講座は二名の特別講師が担当した。桑山正進先生には「文献と考古学から観たガンダーラの佛教」十回、武内孝善先生には「空海伝の研究―真実の空海を求めて―」十回、計二十回ご講義いただいた。

公開講座は、研究所講師および研究員により、それぞれの専門分野から六回にわたり開催された。これらの講座の内容については、「公開講座要旨」をご参照いただきたい。

また、学術交流の一環として、学外招聘講師を迎え、特別公開講座を開催している。

本年度は吹田隆道講師（佛教大学非常勤講師）、アレクシス サンダーソン講師（オックスフォード大学

教授）、ハルナガ アイザクソン講師（ハンプルク大
学教授）、古庄浩明講師（考古学者、大学講師）、置田
清和講師（京都大学白眉センター助教）、バダガロフ
ジャーナル講師（ブリヤート国立大学、東京外国語
大学アジア・アフリカ言語文化研究所）、スダン
シヤキヤ講師（種智院大学准教授）を迎え、公開講座
を開講した。

○研究活動

総合仏教研究所では、ひとつの「研究テーマ」に対
して、講師・研究員・研究生がそれぞれの専門領域を
生かしながら参加する「研究会」が組織され、この研
究会を単位とする研究活動に対して助成が与えられて
いる。

本年度の研究助成には、継続および更新申請の本研
究会十四件に加えて、助走から本研究への申請が一件、
継続の助走研究会一件の計十六件の助成申請があった。
総合仏教研究所運営協議会の厳正なる審査を経て、十
六研究会の助成申請全てが承認された。

○研究助成

【本研究会】

〈新規承認〉

・仏教文化におけるメディア

代表 森 覚（綜仏研究員）

〈更新承認〉

・『唐決』——日本における天台教学受容過程の研究——

代表 寺本 亮晋（綜仏研究員）

・唐中期長安仏教の研究

代表 小林 順彦（本学講師）

〈継続承認〉

・モンゴル仏教史研究会

代表 阿部 真也（綜仏講師）

・梵本写本不空罽索神変真言經の研究

代表 倉西 憲一（本学講師）

・『律經』出家事の研究

代表 平林 二郎（綜仏研究員）

・『真俗雜記問答鈔』の訳注研究

代表 小宮 俊海（綜仏研究員）

・近世唱導文芸研究会『類雜集』の翻刻と研究

代表 由井 恭子（本学任期制専任講師）

・サンスクリットの修辭法の研究

代表 吉澤 秀知（本学講師）

・瑜伽論声聞地・第三瑜伽処の研究

代表 石田 一裕（本学講師）

・「大学と宗教」研究（戦時下・宗教系大学に関する研究）

代表 松野 智章（本学講師）

・室町期における諸宗兼学思想の研究

代表 大橋 雄人（綜仏研究員）

・近世における祈祷寺院の研究

代表 櫛田 良道（本学講師）

・中世東国仏教研究

代表 大八木隆祥（綜仏研究員）

・『理趣広経』の翻訳研究

代表 大塚 惠俊（綜仏研究員）

【助走研究会】

（継続承認）

・仏教学の形成と展開に関する基礎的調査

代表 三浦 周（綜仏講師）

以上の各研究会の研究成果の一部は「共同研究」

総合仏教研究所研究助成中間報告」として掲載されているので、ぜひ御高覧いただきたい。

平成二十七年年度 活動日誌

○四月十五日（水）

・総合仏教研究所総会

○五月八日（金）

・第一回特別講座

空海伝の研究―真実の空海を求めて―

空海の人間観

研究所特別講師 武内孝善

○五月十三日（水）

・第一回所内研究発表会

（発表者）

石井 正稔：空海が請来した毘沙門天経軌類について

て

新井 弘賢：「覚意の五音博士」以前の記譜法について

○五月二十日（水）

- ・第二回所内研究発表会

〈発表者〉

勝崎 裕之：聖問『教相十八通』第八重について

安孫子 稔章：法然における功德について

長尾 隆寛：法然上人御法語の伝承過程に関わる人

物について

○五月二十日（水）

- ・第一回特別講座

文献と考古学から見たガンダーラの佛教

地理上のガンダーラとその歴史

研究所特別講師 桑山正進

○五月二十一日（木）

- ・公開講座

十二分経「アヴァダーナ」再考

講師 吹田 隆道（佛教大学非常勤講師）

○五月二十二日（金）

- ・第二回特別講座

空海伝の研究―真実の空海を求めて―

空海は畿内で生まれた

研究所特別講師 武内孝善

○六月五日（金）

- ・第三回特別講座

空海伝の研究―真実の空海を求めて―

空海の少年時代

研究所特別講師 武内孝善

○六月十七日（水）

- ・第二回特別講座

文献と考古学から見たガンダーラの佛教

宇宙軸信仰とストウパーの生成

研究所特別講師 桑山正進

・第三回所内研究発表会

〔発表者〕

名取 玄喜…Samantamukha-praveśa-dhāraṇiに

基づく仏塔供養儀軌について—仏塔の
構造と教理の対応関係を中心に—

中村 賢識…『十住心論衆毛鈔』にみられる頼瑠の

諸宗理解 第七覚心不生心を中心に

大塚 惠俊…『文殊師利根本儀軌經』所説のパタ作

製儀則について

○六月二十四日（水）

・第一回綜合仏教研究所運営協議会

○六月十九日（金）

・第四回特別講座

空海伝の研究—真実の空海を求めて—

空海の家と入唐

研究所特別講師 武内孝善

○七月一日（水）

・第三回特別講座

空文献と考古学から観たガンダーラの佛教

ガンダーラにおけるストウパーの変貌

研究所特別講師 桑山正進

・第四回所内研究発表会

〔発表者〕

後藤 史孝…『略論安楽浄土義』と『讃阿弥陀仏

偈』の関係性について

杉山 裕俊…『安楽集』における往生浄土の構造に

ついて—二諦説と有相・無相との関わ

りを中心に—

伊藤 真弘…『大日経』『住心品』に説かれる「九

句」について

○七月三日（金）

・第五回特別講座

空海伝の研究—真実の空海を求めて—

恵果阿闍梨との出逢い

研究所特別講師 武内孝善

○七月十五日（水）

・ 第四回特別講座

文献と考古学から観たガンダーラの佛教

インドの無仏像とガンダーラの仏像

研究所特別講師 桑山正進

○九月九日（水）～九月十五日（火）

・ 中国北京出張

○九月十七日（木）

・ 公開講座

タントラ研究をどのように行うべきか？ (How

should we do Tantric Studies?)

講師 Alexis Sanderson 先生

(オックスフォード大学教授)

○十月二日（金）

・ 第六回特別講座

空海伝の研究―真実の空海を求めて―

最澄との交友

研究所特別講師 武内孝善

○十月十四日（水）

・ 第五回特別講座

文献と考古学から観たガンダーラの佛教

聖遺物と聖跡の創作

研究所特別講師 桑山正進

・ 第一回公開講座

猪股 清郎…空海のメディア性の原点としての「大

日即身」観―「大いなるもの」との入

我我入による「大我」即「毘盧遮那」

の構造―

小宮 俊海…近世智積院と梶尾高山寺

○十月十六日（金）

・ 第七回特別講座

空海伝の研究―真実の空海を求めて―

高野山の開創とその意義

研究所特別講師 武内孝善

・公開講座

アバヤーカラグプタが説く「最高の才能をもった師による最高の才能をもった弟子の灌頂」
(Abhayākara Gupta on the consecration of the initiate of highest capacity by the guru of highest capacity)

講師 Harunaga Isaacson

(ハンプルク大学教授)

○十月二十一日(水)

・第二回公開講座

大橋 雄人：澄円菩薩の事跡について
西野 翠：『維摩経』における「無尽灯の法門」

○十月二十八日(水)

・第六回特別講座

文献と考古学から見たガンダーラの佛教
仏鉢の所在

研究所特別講師 桑山正進

・第三回公開講座

平林 二郎：Ajitasenayākarāṇa について
松本 恒爾：Candrakīrti の評価について
— Sahajavajra の例を中心として —

○十一月十一日(水)

・第四回公開講座

濱田 由美：学制期における学校制度受け入れ状況について

風間 弘毅：大伝法院座主補任と俗的背景

○十一月十三日(金)

・第八回特別講座

空海伝の研究——真実の空海を求めて——

空海と嵯峨天皇・藤原三守

研究所特別講師 武内孝善

○十一月十八日(水)

・第二回総合仏教研究所運営協議会

○十一月十八日（水）

・第七回特別講座

文献と考古学から見たガンダーラの佛教

行歴僧の旅程

研究所特別講師 桑山正進

・第五回公開講座

嶋田 毅寛：ボロブドゥール——消失する暗号かマ

ンダラか

・第五回所内研究発表会

〈発表者〉

渡辺 隆明：石津照璽の「第三の領域」——『天台実

相論の研究』の考察を中心として——

○十一月二十五日（水）

・第六回公開講座

阿部 真也：部派仏教における三昧

三浦 周：近代仏教学と学術研究助成金

・公開講座

中央アジアにおける仏教遺跡

——近年のウズベキスタンにおける調査成果から——

講師 古庄浩明 先生（考古学者・大学講師）

○十一月二十七日（金）

・第九回特別講座

空海伝の研究——真実の空海を求めて——

綜芸種智院の開設

研究所特別講師 武内孝善

○十二月五日（土）

第二十五回佛教文化学会学術大会

大会テーマ「地域社会と仏教——仏教文化の再発掘・

創生——」

○十二月九日（水）

・第八回特別講座

文献と考古学から見たガンダーラの佛教

ガンダーラの凋落

研究所特別講師 桑山正進

○十二月十一日（金）

・第十回特別講座

空海伝の研究―真実の空海を求めて―

最晩年の空海

研究所特別講師 武内孝善

○一月七日（木）

・公開講座

近世南アジアにおけるサンスクリット宗教詩

―ヴィシシュヌ教ベンガル派の視座から―

講師 置田清和先生

（京都大学白眉センター助教）

○一月十三日（水）

・第九回特別講座

文献と考古学から観たガンダーラの佛教

中国における末法思想

研究所特別講師 桑山正進

○一月二十六日（木）

・公開講座

ブリヤートモンゴル佛教寺院蔵文献、地図について

講師 バダガロフ ジャルガル 先生（ブリ

ヤート国立大学 東京外国語大学ア

ジア・アフリカ言語文化研究所）

○一月二十七日（水）

・第十回特別講座

文献と考古学から観たガンダーラの佛教

ナレーンドラヤシヤス、ジナグプタ、玄奘

研究所特別講師 桑山正進

○二月二十二日（月）

・公開講座

大震災後のネパールの現状

講師 スダン シヤキヤ（種智院大学 准教授）

○二月十日（水）

・第三回総合仏教研究所運営協議会

○二月十八日（木）～二月二十日（土）

・中国北京出張

○三月七日（月）

・綜合仏教研究所運営委員会

○訃報

○シヤウマン ヴェルナー氏

（綜合仏教研究所運営協議委員 人文学科教授）

平成二十七年四月二十一日ご逝去なされました。

平成二十八年三月二十六日 印刷
平成二十八年三月三十一日 発行

大正大学綜合佛教研究所年報 第三十八号

発行人 野口圭也

編集 大正大学綜合仏教研究所

東京都豊島区西巢鴨三丁目二〇番一号

印刷所 有限会社 立花印刷

東京都文京区大塚五丁目四〇番五号

発行所 大正大学綜合仏教研究所

東京都豊島区西巢鴨三丁目二〇番一号

電話（三九一八）七三一一番（代表）

○研究員

大	八	木	隆	祥
西		野		翠
嶋		田	毅	寛
石		川	達	也
宮		部	亮	侑
片		桐		尚
大橋	(沼倉)	雄		人
平		林	二	郎
鈴		石	忠	司
菊		池		結
寺		山	賢	照
伊		藤	真	弘
杉		山	裕	俊
渡		辺	隆	明

猪	股	清	郎
風	間	弘	毅
寺	本	亮	晋
森			覚
井	上	智	裕
関	口	中	道
濱	田	由	美
松	本	恒	爾
小	宮	俊海(俊二)	
竹	岸	貢	嗣
増	山	賢	俊
大	塚	惠	俊
長	尾	隆	寛

○研究生

安	孫	子	稔	章
名		取	玄	喜
石		井	正	稔
後		藤	史	孝

新	井	弘	賢
中	村	賢	識
勝	崎	裕	之

○客員研究員

藤	近	恵	市
---	---	---	---

金		永	晃
---	--	---	---

平成二十七年大正大学総合仏教研究所名簿

(平成二十七年十一月時点)

所	長	野	口	圭	也	教授
副	所	元	山	公	寿	教授
副	所	副	島	弘	道	教授
主	任	吉	澤	秀	知	非常勤講師
特 別	講 師	桑	山	正	進	先生
特 別	講 師	武	内	孝	善	先生
運 營	協 議 会 委 員 長	苫	米 地	誠	一	教授
		勝	野	隆	広	准教授
		木	村	秀	明	教授
		林	田	康	順	教授
		小	此木	輝	之	教授
		宮	寄	洋	一	教授
		小	嶋	知	善	教授
		大	場		朗	教授
		伊	藤	淑	子	教授
		星	川	啓	慈	教授
		司	馬	春	英	教授
		村	上	興	匡	教授

○研究所講師

阿 部 真 也

三 浦 周